

## 情報公開文書

1. 研究の名称  
脾臓容積と COVID-19 重症化リスクに関する研究
2. 倫理審査と許可  
京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、各研究機関の長の許可を受けて実施しています。
3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名
  - 1) 研究責任者  
山本 洋介 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻医療疫学分野 教授
  - 2) 共同研究機関  
自治医科大学附属さいたま医療センター  
研究責任者：菅原 斉  
済生会熊本病院  
研究責任者：阿南 圭祐  
京都市立病院  
研究責任者：栃谷 健太郎  
橋本市民病院  
研究責任者：有吉 彰子
4. 研究の目的・意義  
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）と診断され、入院加療を受けられた患者さんを対象に、診療中に撮像された CT 画像を利用して、COVID-19 が重症化しやすくなる要因を調べる研究です。脾臓とは左脇腹にある 10cm 大の臓器で、古くなった血球の処理や、体内に侵入した細菌やウイルスに対する免疫に関する働きを担っています。胸部や腹部の CT を撮像した際に脾臓が映り込むため、その画像の脾臓の断面積をもとに脾臓の容積を計算します。
5. 研究実施期間  
研究機関の長の実施許可日より 2027 年 3 月 31 日まで
6. 対象となる試料・情報の取得期間  
2020 年 2 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日の間に、上記の共同研究機関において、COVID-19 の治療目的に入院診療を行った患者さん
7. 試料・情報の利用目的・利用方法  
COVID-19 が重症化しやすくなる要因を解析するために使用します。
8. 利用または提供する試料・情報の項目  
試料：なし  
情報：病歴、治療歴、各種検査結果、転帰、胸部や腹部の CT 画像 等
9. 利用または提供を開始する予定日  
各研究機関の長の実施許可日以降
10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名  
自治医科大学附属さいたま医療センター  
研究責任者：菅原 斉  
済生会熊本病院  
研究責任者：阿南 圭祐

京都市立病院  
研究責任者：栃谷 健太郎  
橋本市民病院  
研究責任者：有吉 彰子

11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称  
山本 洋介 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻医療疫学分野 教授
12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法  

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、下記の連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。
13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法  

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。
14. 研究資金・利益相反
  - 1) 研究資金の種類および提供者  
本研究は、京都大学大学院医学研究科医療疫学分野の運営費交付金を使用して研究を行う予定です。
  - 2) 提供者と研究者との関係  
現時点で特定の企業からの研究費の提供はありません。
  - 3) 利益相反  
利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。共同研究機関においては各機関の規程に従い審査されています。
15. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法
  - 1) 研究課題ごとの相談窓口  
阿南 圭祐 済生会熊本病院 呼吸器内科  
住所 熊本県熊本市南区近見5丁目3番1号  
TEL: 096-351-8000 (病院代表)
  - 2) 苦情等の相談窓口  
済生会熊本病院 臨床研究支援室  
(Tel) 096-351-8000 (病院代表) (E-mail) rks@saiseikaikumamoto.jp
16. 外国にある者に対して 試料・情報を提供する場合  
当研究は、外国にあるものに対して試料・情報の提供を行いません。